

逃げ遅れる人々

東日本大震災と障害者



**障害があるということは、
災害時には普段以上のハンディとなる。**

2011年3月11日の東日本大震災、未曾有の大災害の中、障害を持つ人々に何が起きたのか?福島県を中心に、被災した障害者とそこに
関わる人々の証言をまとめた。

障害ゆえに、地震や津波から身を守れず、また必要な情報も得られ
ない…。

「ここではとても生活できない」「周囲に迷惑をかけるから」と、多くの障
害者が避難をあきらめざるを得なかった。そうしたなかで避難所に入っ
た障害者を待ち構えていたのは…。

更には仮設住宅へ入居しても、そこでも大変な不自由が待っていた。
原発事故により市民の姿が消えた避難区域には、取り残された障害
者が不安な日々を送っていた。大震災に翻弄される障害者と、その実
態調査・支援に奔走する人々の、困難の日々。

住み慣れた土地を追われ、避難先で新たな生活を模索する時、涙とと
もに故郷への思いがあふれる。

マスメディアでは断片的にしか取り上げられない、被災地の障害者を
取り巻くさまざまな課題や問題点が浮かび上がる。

逃げ遅れる人々

東日本大震災と障害者

2012年/日本語/74分/
16:9/ドキュメンタリー
製作:東北関東大震災障害者救援本部

**DVDパッケージも
発売中!**

●一般価格:3,000円
●団体・ライブラリー価格(上映権つき):10,000円
詳しくは東北関東大震災障害者救援本部へお問い合わせください。

東北関東大震災障害者救援本部 <東京事務局>

〒192-0046 東京都八王子市明神町4-11-11-1F
全国自立生活センター協議会(JIL)内
電話:042-631-6620
FAX:042-660-7746
E-mail:9enhonbu@gmail.com
作品URL:<http://www.j-il.jp/movie/>

東北関東大震災障害者救援本部は、DPI日本会議、全国自立生活センター協議会、ゆめ
風基金といった障害者団体を中心に発足し、震災直後からさまざまな支援活動を行なっ
てきました。被災3県に障害者支援センター設置、救援物資の調達と輸送、避難者の受け入
れ、ボランティアの派遣、避難所や仮設住宅での聞き取り、移送支援など、現地の状況に
応じて取り組んできました。

活動を通じ、当事者の声を記録すること・伝えることの必要性を感じ、この映像製作がスタート
しました。また、震災から時間が経つにつれ、「何があったのか、忘れてはならない」と感じてい
ます。それは決して被災地の人々のためだけではありません。本作を通じて各地の障害者とその
関係者に、災害時の備えの必要性を伝えていきたいとも考えています。そして、被災地の
一日も早い復興と、障害の有無を問わず誰もが安心して暮らせる社会の実現を願います。

監督:飯田基晴(「あしがらさん」「犬と猫と人間と」)・製作:東北関東大震災障害者救援本部

マスメディアでは断片的にしか取り上げられない、
被災地の障害者のさまざまな現実を迫る。

撮影:飯田基晴・矢野大裕・編集・ナレーション:飯田基
制作:映像グループローボーション
2012年/日本語/74分/16:9/ドキュメンタリー
日本語字幕・選択可(聴覚障害者用)
作品URL <http://www.j-il.jp/movie/>

アニメ映画 浪江町消防団物語 「無念」



監督：いくまさ鉄平

制作：浪江まち物語つたえ隊 まち物語制作委員会 約50分

声の出演：俳優 大地康雄 浪江町長 馬場有 浪江町消防団 高野仁久
他、浪江町のみなさん

【浪江まち物語つたえ隊 代表 小沢是寛さんより】

原発事故により、命があることを知りながら救助活動を中断し避難せざるをえなかった浪江町消防団。福島浪江まち物語つたえ隊と広島まち物語制作委員会が、その時の様子・心情を伝えるため制作したのが「無念」です。俳優の大地康雄さんの協力をいただく中、20人の被災者が集い、声優を務め、テーマソングを作りました。いわば手作り自主映画ですが、そこに込めた想いは、どんなプロフェッショナルな映画にも負けません。加えてラストシーンには福島の震災体験を40本の紙芝居にする中、出会った様々な無念な出来事をショートストーリーで紹介しています。自然災害では起こりえない原発事故ならではのまち物語、貴方の知らない東日本大震災がそこにあります。

<2016.5.29 市民による女川原発の安全性を問うシンポジウム part2 プレ企画>
福島原発事故から5年 放射能から逃げることの真実を描く映画特集

障害者の避難を描いた「逃げ遅れる人々」東日本大震災と障害者 &

浪江の消防団の苦悩を描いたアニメ

浪江町消防団物語「無念」 同時上映会

日時：2016.4.23 (土) 18:30~20:45

会場：仙台市戦災復興記念館 4F 研修室 (定員64名) (仙台市青葉区大町二丁目12-1)

参加費：無料 (カンパ歓迎) 事前申し込み不要

主催：みやぎ脱原発・風の会 協賛：生活協同組合あいコープみやぎ

協力：市民による女川原発の安全性を問うシンポジウム実行委員会

連絡先 090-8819-9920 (館脇) メール hag07314@nifty.ne.jp